

番号	氏名	抱負
151	田頭 裕之	理想を言えば、最高かつ最善の放射線診療の提供を目指し、エビデンスに基づいた最新・最適な画像診断と放射線治療を実施、放射線照射の長所を最大限に生かした放射線治療の実施、さらに最善で安全な放射線診療が提供できる環境・先進的な放射線技術学の研究と教育の実施出来る良き医療人の育成が不可欠である。また患者の立場に立った放射線診療の提供を理解し実践する心をもった医療人の育成が出来る環境を代議員として整えたい。
152	高田 忠徳	
153	高松 聡	これまで、関東部会学術大会、セミナー、研究会と参加させていただきました。学会本部、専門部会、支部の結びつきの重要性和、多岐に渡る専門的な知識と教育の場を会員に提供している会と感じております。学会本部、専門部会と協力し、更に地方での多くの事業を行い、技術学会の発展、支部の活性化、会員の放射線技術の向上のために寄与してゆきたい所存でおります。
154	高森 清華	専門的な知識をもつ人材を増やしていくために知識交換の場として学術大会は大変重要であります。近年他学会において国際化は著しく、本学会においても放射線技術学の発展には国際化は欠く事ができません。国際化の必要性は理解しておりますが、英語に対する苦手意識は尽きません。同じ状況にある多くの会員に納得して頂き、満足できる学会運営に貢献できるよう精一杯努力していく所存です。
155	多賀谷 靖	放射線技術学に関する研究及び発表に関する事業が円滑に行われ、組織として発展するように微力ながら貢献できればと思っています。
156	武井 宏行	関東支部理事7年、本部代議員5年、本部倫理審査委員2年、総会学術大会実行委員を経験し、これから日本放射線技術学会が向かう方向性に対し力を発揮していきたいと思う。まずは国際化、英語論文の増産、研究倫理の徹底。
157	竹井 泰孝	私は中部支部理事、研究会代表世話人、そして本部ではプログラム委員、放射線防護部会委員を経験させていただき、支部と本部の連携の重要さを間近で経験してまいりました。今後、学会の国際化をさらに推進していくためには本部と支部が密接に連携して活動することが不可欠ではないかと考えております。私は地方支部、本部役員として学んだ経験を活かし、地方支部と本部を結ぶ橋渡し役を担いたいと思っています。
158	立花 茂	春秋の学術大会時の特別講演や教育講演の充実を図るのはもちろんであるが、特に専門部会でのセミナーや講演会などの教育的催しものを出来るだけ多く地方で開催し、若い人たちが無理なく、気軽に参加できる環境を整備し、各分野の基礎的な部分から最先端技術までの習得を目指し、放射線技術学と国際化を確立するための基盤づくりを目指します。
159	辰己 大作	日本放射線技術学会近畿支部理事、放射線治療部会委員、編集委員を務めさせて頂いております。日本放射線技術学会は、放射線技師の将来の命運を握る重要な会であると認識しています。微力ながら、そのお手伝いが出来ればと考えています。どうぞ、よろしく願いいたします。
160	田中 功	高度化・多様化する放射線技術の習得や放射線技術学をはじめとする広範な医学知識の向上は、日本放射線技術学会員として不可欠である。私はこれまで日本放射線技術学会会員として主に研究学会活動のみを行ってきたが、今後は培ってきた知識を活かし放射線技術の更なる活性化と医学知識の向上に寄与すべく、日本放射線技術学会はもとより医学の発展に貢献するために微力ながら貢献していく所存である。